

今日、イノベーションの様態は、オープン化、グローバル化、サイエンスリンケージの上昇(学術と産業技術の接近)、新興国の台頭等、世界的にみて大きな構造変化を遂げています。こうした構造変化と比して、現行のナショナル・イノベーション・システムは変革が遅れており、結果として、必ずしも、イノベーション促進的なものとはなっていないのではないのでしょうか。特に、特許制度については、イノベーションの質的な変化に加え、特許出願の量的な拡大もあって、各国制度の改革と国際協力の必要性が高まっています。

本シンポジウムでは、特許制度を中心に、「イノベーションを促す次世代の仕組み作り」について、産学官、内外の有識者の間での密な対話を行います。それを踏まえ、改革の方向性やグローバルな協力課題について、一定のコンセンサスを形成し、世界に向けて発信します。同時に、制度改革の知的インフラとして欠かせない学術的な研究課題を特定することを目指しています。

本シンポジウムの事前告知、並びに当日取材につきましてご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

【日時】2009年6月11日(木)9:45~17:35 / 受付開始 9:15~

【場所】京都大学 百周年時計台記念館「百周年記念ホール」

【主催】東京大学、京都大学

【共催】NEDO

【後援】全国イノベーション推進機関ネットワーク協議会、京都工業会、日本知財学会

【定員】300名程度

【事務局】東京大学政策ビジョン研究センター

(協力:東京大学知的資産経営総括寄附講座、東京大学イノベーション政策研究センター)

【URL】[http://pari.u-tokyo.ac.jp/event/smp090611\\_info.html](http://pari.u-tokyo.ac.jp/event/smp090611_info.html)

【お申し込みはこちらのフォームから】[http://pari.u-tokyo.ac.jp/event/smp090611\\_form.html](http://pari.u-tokyo.ac.jp/event/smp090611_form.html)

- ※参加費無料・要事前申込
- ※定員に達し次第、お申込を締め切らせて頂きます。
- ※日英同時通訳付

お問い合わせ先:

東京大学政策ビジョン研究センター  
特任専門職員(広報担当)  
山野泰子

〒113-0033  
東京都文京区本郷7-3-1  
Tel: 03-5841-1708  
Fax: 03-5841-1709  
Email: [yamano@pp.u-tokyo.ac.jp](mailto:yamano@pp.u-tokyo.ac.jp)  
URL: <http://pari.u-tokyo.ac.jp>

政策ビジョン研究センターは、東京大学で生み出される研究の成果を、社会が直面する課題の解決に資する政策の選択肢としてまとめ、多くの人々に理解していただけるような形で発信することを使命としています。

昨年10月に本格的に活動を開始して以来、社会的な課題の解決や国民生活の向上等に結びつくようなテーマについて、7つの研究ユニットを立ち上げ、政策提言に向けて研究を進めています。

